

事後評価結果（平成25年度）

担 当 課：東北地方整備局 道路計画第一課
 担当課長名：小山 健一

事業名	一般国道4号 <small>もとみや</small> 本宮拡幅	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局
起終点	自：福島県 <small>もとみや</small> 本宮市荒井字陣場 至：福島県 <small>あだち おおたまむらおおやま どうがくほ</small> 安達郡大玉村大山字堂ヶ久保	延長	8.9 km		

事業概要

一般国道4号は、東京都中央区から青森県青森市に至る延長約888.2kmの主要な幹線道路である。
 本宮拡幅は、福島県本宮市荒井字陣場から同県安達郡大玉村大山字堂ヶ久保に至る延長8.9kmの4車線化拡幅事業であり、平成20年度に全線4車線開通している。

事業の目的・必要性

もとみや 本宮拡幅は、国道4号の交通混雑の解消・交通安全の確保や、沿線の工業団地へのアクセス向上・地域間交流促進による地域振興などを目的とした事業である。

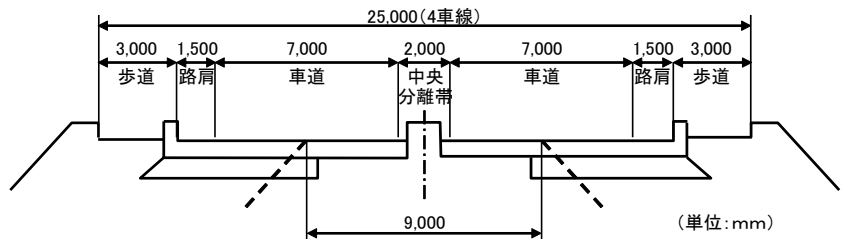
事業概要図

【位置図】

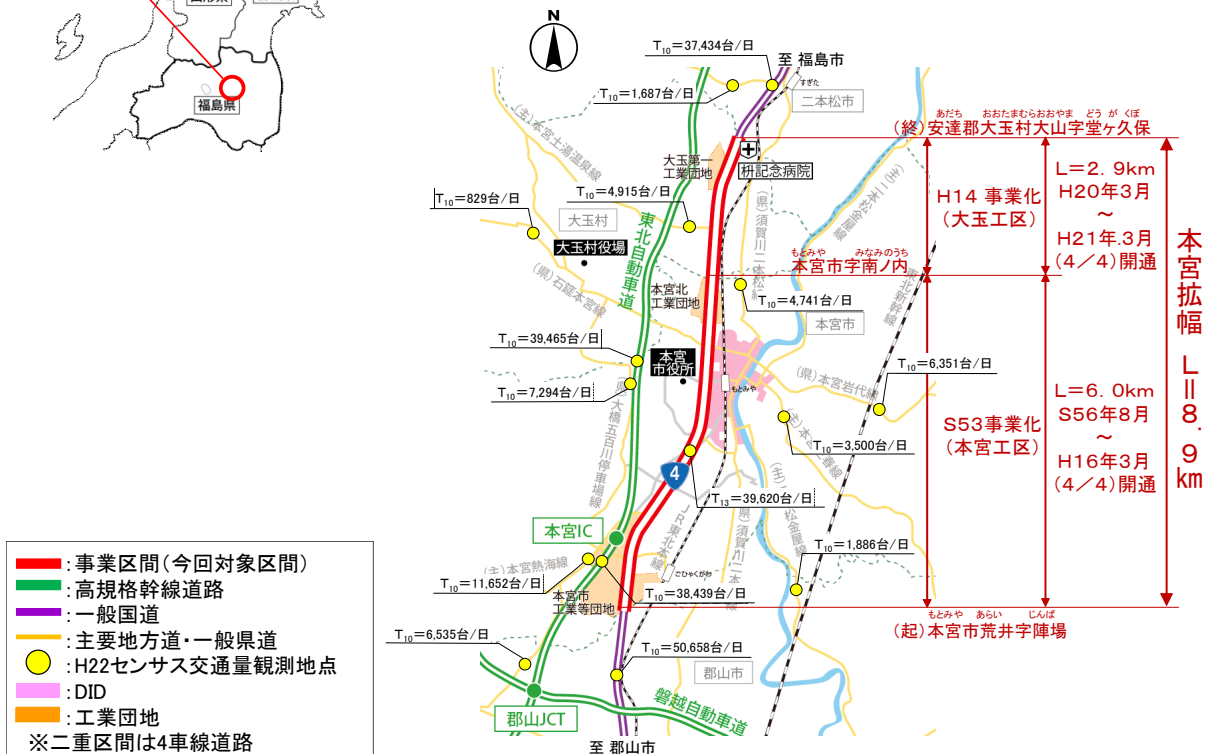


本宮拡幅

【標準横断図】



【事業概要】



事業 の 効 果 等	事業期間	事業化	昭和53年度	用地着手	昭和54年度	供用年	(当初) - / -	変 動	一 倍	
		都市計画決定	昭和56年度	工事着手	昭和55年度	(暫定/完成)	(実績) - / H20			
	事業費	再評価時 (暫定/完成)	(名目値) - / 187億円 (実質値) - / 382億円		実績 (暫定/完成)	(名目値) - / 187億円 (実質値) - / 194億円		変 動	一 倍	
	交通量 (当該路線)	計画時 (暫定/完成)	(H17再評価時) - / 47,600台/日		実績 (暫定/完成)	(H25事後評価時) - / 34,500台/日		変 動	-27.5%	
	旅行速度向上	20.3km/h → 35.8km/h (供用前年次) S55年度 (供用後年次) H25年度			交通事故減少	153.1件/億台扣 → 51.4件/億台扣 (S55) (H22)				
	費用対効果 分析結果 (再評価)	B/C	総費用 303億円 事業費: 252億円 維持管理費: 51億円		総便益 1,405億円 走行時間短縮便益: 1,329億円 走行経費減少便益: 16億円 交通事故減少便益: 61億円		基準年 平成17年			
	費用対効果 分析結果 (事後)	B/C	総費用 357億円 事業費: 309億円 維持管理費: 49億円		総便益 1,358億円 走行時間短縮便益: 1,311億円 走行経費減少便益: 14億円 交通事故減少便益: 33億円		基準年 平成25年			
	事業遅延によるコスト増	費用増加額		-		便益減少額		-		
	事業遅延の理由	-								
	客観的評価指標に対応する事後評価項目									
<p>①円滑なモビリティの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現道の渋滞損失時間 (整備前) 420万人・時間/年 → (整備後) 213万人・時間/年 ・現道の旅行速度改善 (整備前) 10km/h → (整備後) 43km/h <p>②安全な生活環境の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現道の死傷事故件数 (整備前) 936件/年 → (整備後) 410件/年 <p>③生活環境の改善・保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現道の夜間交通騒音改善 (整備前) 73dB → (整備後) 67dB <p>④他のプロジェクトとの関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現道沿線で企業立地が進み、製造品出荷額が4.7倍に増加 										
その他評価すべきと判断した項目										
・特になし										
事業 による 環境 変化	環境影響評価に対応する項目									
	・特になし									
その他評価すべきと判断した項目										
・特になし										
事業を巡る社会経済情勢等の変化										
○道路の整備状況 (東北縦貫自動車道・磐越自動車道)										
昭和53年4月1日 郡山IC～白石IC間 83.1km開通										
昭和56年8月4日 本宮IC 開通										
平成2年10月31日 郡山JCT～磐梯熱海IC間 8.2km開通										
平成7年8月2日 郡山JCT～津山IC間 71.4km開通										
平成9年10月1日 西会津IC～津山IC間 22.4km開通										
開通により郡山～新潟間が全線開通										
○その他の状況										
平成23年3月11日 東日本大震災発生										

今後の事後評価の必要性及び改善措置の必要性

- ・事業当初の目的に対する効果が発現しており、更なる事後評価及び改善措置の必要はないと考える。

計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性

- ・特になし

その他特記事項

- ・特になし

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。